

フェールセーフ機能追加版 DACS-2600FS

(この説明書はDACS-2600FSの機能について記述したものです。

DACS-2600 標準版にはフェールセーフ機能はありませんのでご注意ください。)

フェールセーフ機能の動作

DACS-2600FS は、DACS-2600の機能に加えて、パソコンからのデータ送信が、一定時間(約10秒)以上途絶えると、デジタル出力(8bit)すべてを0(Low)とするフェールセーフ機能をそなえています。10秒以内に、次のデータ送信を行うと、フェールセーフ用カウンタがリセットされて、その時点からタイムカウントが新たにスタートします。また、フェールセーフ状態となった後も、パソコンから新しいデータを送信すると、デジタル出力は送信データにより変化し、タイムカウンタはリセットされます。

フェールセーフ機能を無効とする方法

パソコンプログラムのデバッグ時などで、フェールセーフ機能をテスト的に解除する場合は、モード切替入力をOPEN(通常動作)とした状態で、外部トリガ入力(CN1 23番ピン)をCLOSEとして使用します。

このほかの機能は、DACS-2600 標準版と同じです。

製造販売	ダックス技研株式会社 ホームページ http://www.dacs-giken.co.jp
------	--

DACS26FS17607A